

# テーマ3

## Hybrid システム

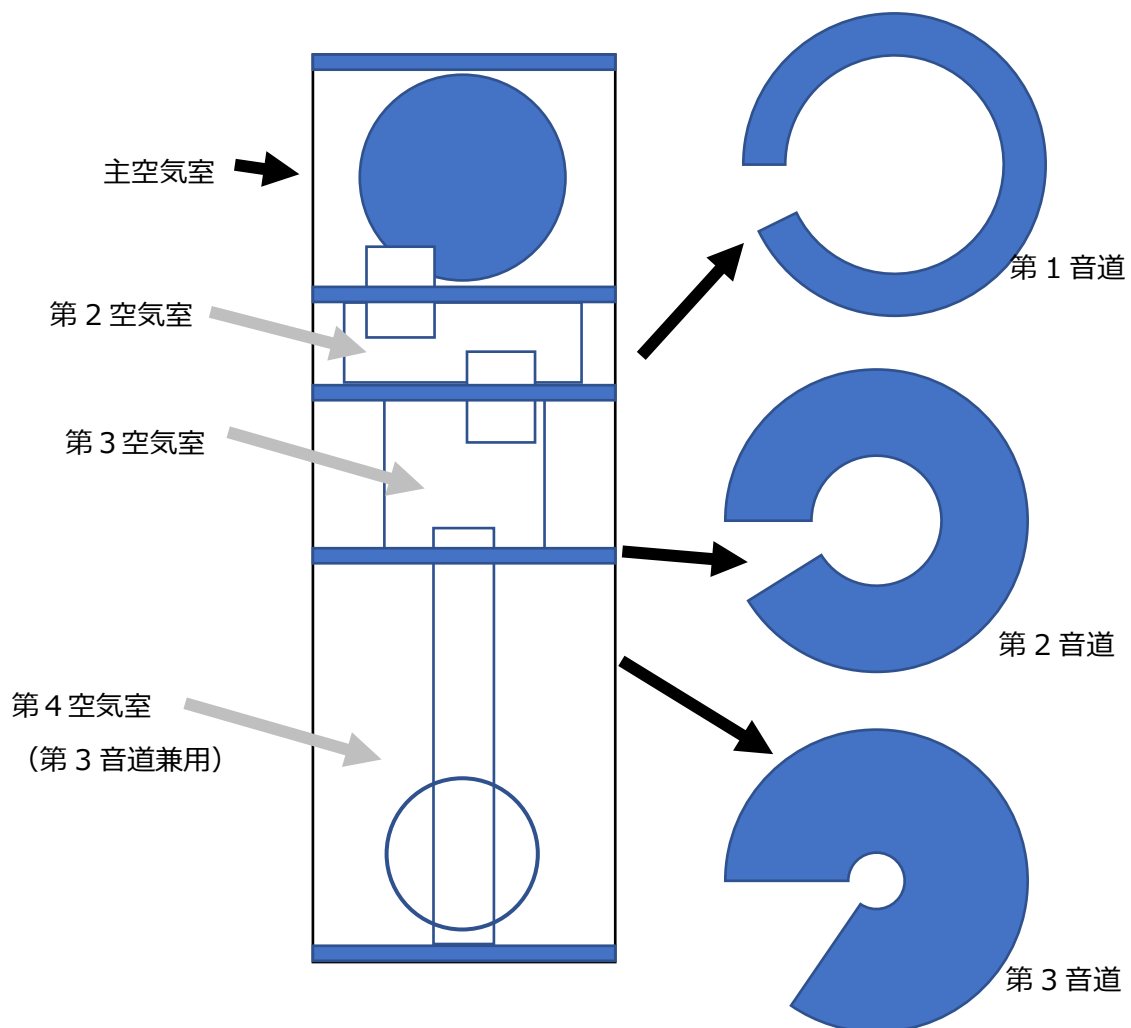
### (バックロードバスレス/クワトロバスレフ)

加藤 剛

かねてより、チューブ素材を用いたバックロードシステムの構想を持っていた。基本的には径の異なるチューブの内径、外径の差を利用して音道を形成するアイデアは持っていた。しかし、内側のチューブの内部の体積がもったいないと考えていた。

昨年末、Iさんと呑んでいるときにハイブリッドのアイデアをお教えいただいた。このIさんは9月のオフ会で出品されたとおりバックロードとバスレスを担当するユニットが独立した設計であった。今回のコンセプトは、バックロードとバスレスを担当するユニットを共有し、エンクロージャー（20×60cm）の体積を無駄なく使いきるものとした。パクリではなくあくまでもオマージュです。

図面



## 仕様

ユニット：オンキヨーサウンド株式会社 OM-MF101

## エンクロージャー

### バスレフ側

主(第1)空気室： 4.4 L  
第2 空気室： 1.78L (φ150 ボイド管)  
第3 空気室： 1.18L (φ100 ボイド管)  
第4 空気室： 8.00L  
第1 ポート：内径：38mm、長さ：50mm  
第2 ポート：内径：38mm、長さ：50mm  
第3 ポート：内径：5mm、長さ：350mm  
第4 ポート：内径：60mm、長さ：70mm

### バックロード側

主(第1)空気室： 4.4 L  
第1 音道：断面積： 21.5cm<sup>2</sup>、長さ：53.7cm  
第2 音道：断面積： 110.3cm<sup>2</sup>、長さ：38.1cm  
第3 音道：断面積： 196cm<sup>2</sup>、長さ：37.4cm  
(音道長さはドーナツ状の孤の中心線の長さとした)